

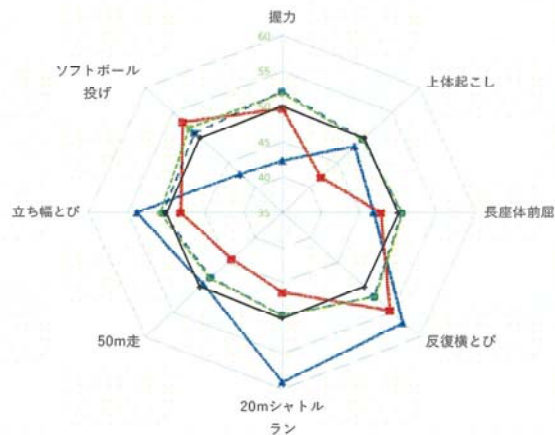
令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 妹背牛町内の小・中学校の状況及び今後の体力向上策

☆学校数：小学校1校・児童数11名、中学校1校・生徒数16名

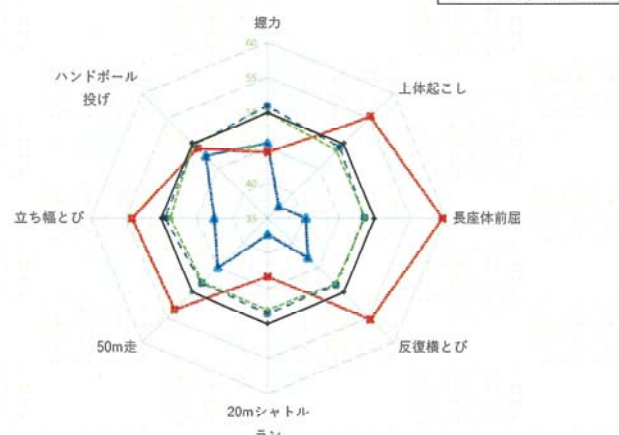
○ 実技に関する調査の状況 ・各種目の記録及び体力合計点

・各種目の全国平均値を50とした時の数値（T得点）をレーダーチャートで表示

小学校



中学校

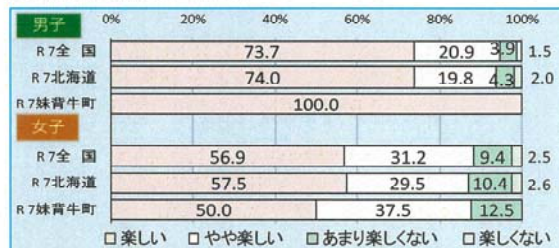


○ 質問調査（児童生徒質問調査）の状況

小学校

【児童質問調査】

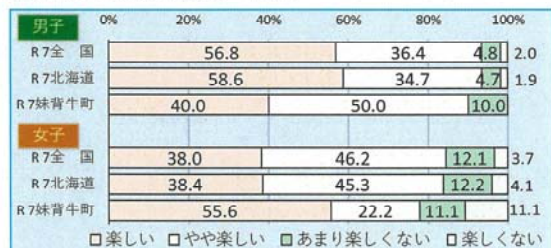
・体育の授業は楽しいですか



中学校

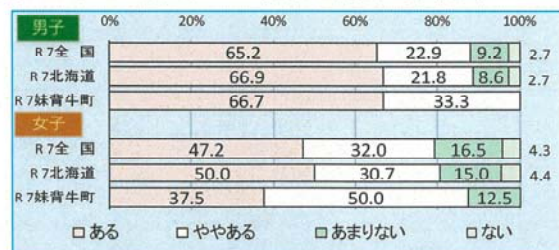
【生徒質問調査】

・保健体育の授業は楽しいですか



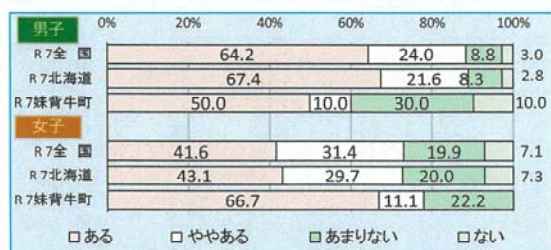
【児童質問調査】

・運動やスポーツをすることに興味や関心がありますか



【生徒質問調査】

・運動やスポーツをすることに興味や関心がありますか



■ 調査結果の分析

小学校

【成果】

・小学校においては、運動やスポーツをすることに興味や関心のあり、運動に取り組む指導の工夫により、運動に対する意欲が高まり、できなかったことができるようになったり、記録に挑戦し記録が伸びたときに授業が楽しく感じ、「体育の授業が楽しい」と感じる児童の割合が、男子については全国及び全道を上回ったと考えられる。
女子については、自分にあったペースで行うことができたため授業は楽しく感じ、全国及び全道を下回った要因と考えられる。

【課題】

・全国及び全道と比較して、女子については体育授業に対する意欲を高める指導の工夫に課題が見られることから、児童にあったペースで進める等、授業が楽しいと感じる指導の工夫が必要であると考えられる。

中学校

【成果】

・中学校においては、実技的な技能や知識の定着につなげるための指導の工夫により、保健体育授業において運動やスポーツをすることに興味や関心があると肯定的に回答している生徒の割合が、女子については全国及び全道を上回ったと考えられる。
男子については、自分にあったペースやレベルで授業が楽しかったと感じており、全国及び全道を下回った要因と考えられる。

【課題】

・全国及び全道と比較して、男子については保健体育授業に対する意欲を高める指導の工夫に課題が見られることから、生徒にあったレベルづくり等の指導の工夫が必要であると考えられる。

■ 妹背牛町の体力向上に向けた改善方策

本町では、全国体力・運動能力・運動習慣等調査の結果を踏まえ、児童生徒の体力向上と、運動に親しむ態度の育成を目的として、必要に応じて内容を見直ししながら、継続的な体力向上に努めます。

体育の授業に加え、朝や授業間の短時間運動などを取り入れ、毎日の学校生活の中で自然に体を動かす機会を確保し、短時間でも継続して取り組むことで、基礎的な体力の向上を図ります。

児童生徒が「できた」「伸びた」と実感できる、また記録や結果だけでなく、努力の過程や継続を大切に、運動への意欲が高まるような活動内容の改善に努めています。

さらに運動が得意でない児童生徒も取り組みやすい内容を工夫します。